

宮崎大学工学部 同窓会だより

みやざき就勝ガイド

宮崎に就職したい在学生の皆さん!!
宮崎に転職したい卒業生の皆さん!!

宮崎で
働くことの
素晴らしさ!

地元で
働いて
良かった!

卒業生支援室(工学部同窓会)では
卒業生・修了生のOB・OGが活躍している企業の情報誌
「みやざき就勝ガイド」を発行して情報提供しております。

興味のある方は、B103「卒業生支援室」まで
お気軽におたずねください。

TEL.0985-58-7862

【Eメール】eng-doso@of.miyazaki-u.ac.jp



2022年版
「みやざき就勝ガイド」
QRコード



■工学部同窓会の連絡先

工学部同窓会の連絡先は、以下の通りです。
同窓会の開催等何かご不明な点がございましたら、
下記までご連絡お願いいたします。

**宮崎大学工学部卒業生支援室
(同窓会事務局) B103**

住所 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

TEL・FAX 0985-58-7862

Eメール eng-doso@of.miyazaki-u.ac.jp

担当 原・帖佐

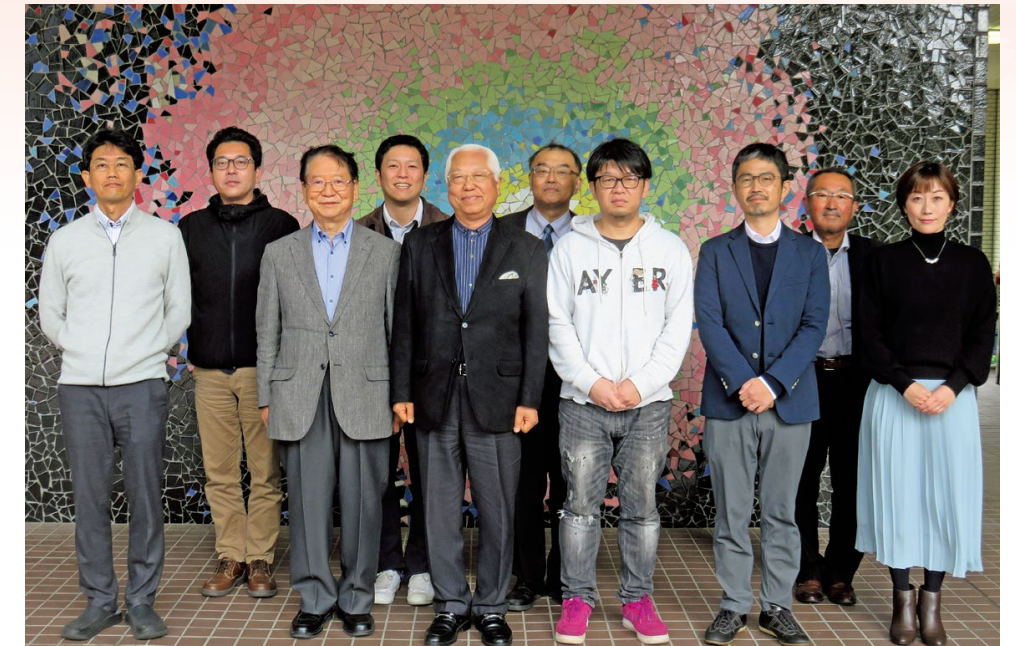
同窓会HP <https://www.web-dousoukai.com/miyazaki-eng/>



同窓会
ホームページ



発行日 2022年3月7日
発行 宮崎大学工学部同窓会



同窓会役員・理事・事務局のメンバー

会長挨拶

2021年は、未だ新型コロナウイルス発生拡大の中、卒業生・修了生におかれましては宮崎大学工学部同窓会の発展のために格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

今年も重点的に実施している工学部同窓会活動について説明させていただきます。

毎月開催される工学部同窓会理事会において、理事の先生方と一緒に協議しながら毎年下記の4つの重点活動を積極的に推進しています。※コロナ禍で大半の行事を中止。

(1) 教育活動への支援

- 学生の学外研修の交通費等の支援
- 学生の各種活動への支援

(2) 学生の福利厚生への支援

- 入学式の支援(貸切りバスなど)
- 教員・学生懇談会の支援
- 工学部主催のレクリエーション大会への支援
- 卒業・修了祝賀会の開催、卒業懇談会への支援

(3) 就職活動への支援

- 学生と企業との交流会開催
- 就職の手引き・企業紹介ガイドブック等の発行・配布

(4) 卒業後の連絡網の充実や同窓会の開催

- 工学部同窓会名簿の管理および工学部同窓会の開催
 - 卒業生支援室(同窓会事務局)での卒業生に対してのワンストップサービス
- ※在学生・卒業生から就活の支援要請が増えています。

今後も、在学生の支援を中心に活気ある工学部同窓会活動を推進しますので更なるご協力・ご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

宮崎大学工学部同窓会長 井上 康雄

ごあいさつ

温暖な気候と豊かな自然の中で
ジェネラリティを持つ
スペシャリストの養成をめざす!



宮崎大学工学部長 鈴木 祥広

2021年は、日本国内においても新型コロナウイルス感染症が拡大し、東京や大阪などの大都市圏のみならず、宮崎県にも甚大な影響を及ぼしました。否応なしに、我々の社会や生活の在り方が大きく変革されるでしょう。すでに、社会・産業を取り巻く環境は激変し、システム化や統合化に早急な対応が産業界等から求められています。特に、「第4次産業革命を牽引する国際競争力のある人材育成やイノベーション創出」に関連して、「AI(人工知能)、数理・データサイエンス等のイノベーション人材育成」が重要視され、「Society 5.0」を構築するための学際的・融合的な人材養成が必要となっています。

このように社会が激変するなかで、宮崎大学工学部は、2021年度、ジェネラリティを持つスペシャリストの養成をめざして、これまでの各専門分野からなる学科の壁を無くして、専門分野の異なる6つのプログラムからなる1学科に生まれ変わりました。ジェネラリティとは、広く一般的な知識や専門的な基礎知識のことです。スペシャリストとは、専門分野に特化した知識・技術を備えた人です。工学部では、両方を兼ね備えた人材の育成を目指します。6つのプログラムは、応用物質化学、土木環境工学、応用物理工学、電気電子工学、機械知能工学、そして情報通信工学です。これからの50年先、100年先を見据えると、6つのプログラムはなくてはならない分野です。

コロナ禍においても工学部の学生は、就職に困る状況にはありません。社会・企業からのニーズが極めて高いので、全国の大企業でも地元の企業でも、希望する業界・職種に、ほぼ全員が就職できています。就職状況が良好な背景には、工学部同窓会を中心とするネットワークが全国に構築され、支援して頂いていることが挙げられます。従って、学部の4年間と大学院工学研究科修士課程の2年間は、安心して学業や研究に集中できる環境が整っています。

宮崎大学工学部は、工学部同窓会のご支援を受けつつ、さらに飛躍します。

工学部同窓会の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

宮崎大学工学部

同窓会だより

Contents

ごあいさつ	1-3p
各プログラム(旧学科)、センターの定年退職・ 昇任・新任教員紹介	4-10p
2021年の主な活動	10p
教育・福利厚生・就職への支援活動	11-15p
各地区工学部会からのメッセージ	16-19p
2021年度 宮崎大学工学部同窓会 役員名簿	20p
2020年度 正・副幹事の紹介	21p
2022年の主な活動予定	21p

副学長(産学・地域連携担当)
産学・地域連携センター長
電気電子工学プログラム(旧 電気システム工学科)



教授 淡野 公一(電子工学科 H2年卒)

1990年に電子工学科を卒業しました淡野と申します(電子工学科第一期生)。この度、2021年10月に副学長(産学・地域連携担当)兼 産学・地域連携センターのセンター長を拝命いたしました。

本センターは、宮崎大学の地域活性化の拠点として、産学連携、地域連携、知的財産の創出および活用、機器の利活用及び分析、地域における人材交流や様々な公開講座及び地域向けの講演会の開催など、多岐にわたる活動に取り組んでいます。このように、本センターは宮崎大学における産業界・地域との連携および社会貢献の中核を担う組織であり、地域貢献型大学を目指す宮崎大学にとっては極めて重要な組織であり、センター長就任にあたり、身の引き締まる思いです。

宮崎大学では「世界を視野に地域から始めよう」のスローガンのもと、地域活性化の中核拠点としての旗幟を鮮明にし、その成果を日本そして世界に発信していくことを目指し、教職員が一丸となって日々努力を重ねています。特に、本学では、『異分野融合を軸に「地の利、人の利」を活かした教育研究等の推進』や『地域と共に興す「新たに光る宮崎ブランド」の確立と発進』に取り組む、地域活性化の拠点はもちろんのこと、特色ある学術研究を宮崎から世界へ発信する拠点としての機能を一層強化しているところです。産学・地域連携センターは、その地域活性化のための重要な拠点の役割を担っており、令和2年4月に「地域人材部門」を立ち上げ、宮崎県内の産学金労官の連携体である「宮崎県産業人材育成プラットフォーム」及び高等教育機関の連携体である「高等教育コンソーシアム宮崎」の事務局機能を担い、地域の産学官が一体となって地域で活躍する人材を育成する新しい人材育成プログラムの確立を目指すことになり、少しずつではありますが、その成果が見えつつあります。

ところで、現在、大学における全学組織体制の再編に取り組んでいます。産学・地域連携センターに関しては、これまでは研究成果の出口である産学・地域連携に取り組んでまいりましたが、再編後はその基盤となる大学内における研究に関しても所掌することとなり、大学内の研究からその成果の産学・地域連携までをシームレスにサポートする組織へと変わります。どうぞご期待ください。

筆末になりますが、工学部同窓会のさらなる発展と皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。

評議員
電気電子工学プログラム(旧 環境ロボティクス学科)



工学部E棟8階で撮影

教授 田村 宏樹(電気電子工学科 H10年卒)

工学部同窓会の皆様、2000年3月宮崎大学大学院工学研究科電気電子工学専攻修士課程の田村宏樹です。2006年に宮崎大学工学部電気電子工学科に助手として着任してから、あっという間に15年が経ちました。2021年10月からは宮崎大学教育研究評議員となり、工学部執行部の一人として勤務しております。私の研究テーマは、生体信号等をニューラルネットワークなどに代表される機械学習のモデルを用いて信号処理する研究です。最近のAIブームなどもあり、地元宮崎の企業からいろいろと共同研究や技術相談を頂いて、学生と一緒にいろいろ苦労しながら、実社会で使える成果物が出るよう研究を進めています。

工学部は2021年4月から1学科6プログラムに改組し、応用物質化学、土木環境工学、応用物理工学、電気電子工学、機械知能工学、情報通信工学の6つの教育プログラムが設置されました。今までの7学科体制では難しかった学年の途中で他の教育プログラムに移ることができるプログラム配属、転プログラムの制度を導入し、入学後の学生のキャリア変更にも柔軟に対応できるようになり、分野のミスマッチによる退学を減らせることができると期待しています。しかし、改組してまだ1年目で、改組の効果が出るようにするには、今からが本番であると考えています。改組が成功して、宮崎大学工学部は、“技術の変化が速い産業界でもしっかり活躍できる人材を養成できている”と同窓生の皆様に胸を張って報告できるように、今からも工学部に尽力していきたいと思っています。

末筆ではございますが、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

各プログラム(旧学科)、センターの定年退職・昇任・新任教員紹介

〈定年退職〉

応用物質化学プログラム(旧 環境応用化学科)

教授 横井 春比古

1992年12月に宮崎大学工学部に着任して以来、工業化学科、物質工学科、物質環境化学科、環境応用化学科、工学科応用物質化学プログラム並びに工学研究科において教育研究に携わらせていただきました。

在職中は、工学部の卒業生・修了生の皆様に大変お世話になりました。例えば、教育面では、“学外技術研修(工場見学)”での企画・実施、“JABEE授業評価会”での外部評価、“学生懇談会”での講演等でご協力いただきました。研究面では、共同研究や奨学寄附金等により、研究室での研究活動の推進や研究環境の充実にご支援いただきました。学生の就職面では、学内開催の“合同・単独会社説明会”、工学部同窓会主催の“学生と企業との交流会”及び“OB・OG訪問”等を通じて、求人情報の提供や就活支援でご尽力いただきました。

工学部同窓会事務局の方々にも大変お世話になりました。“新入生歓迎ソフトボール大会”等の各種イベントの企画・支援、“学外技術研修(工場見学)”での交通費補助、“入学式・卒業式・修了式”での各種支援、“学生と企業との交流会”の企画・運営、“就職の手引き”や“みやざき就勝ガイド”の作成・配布、県内企業の求人紹介と就職斡旋等、様々な支援と協力をしていただきました。

定年退職に際し、在職中の教育研究活動の多くが工学部の卒業生・修了生並びに同窓会事務局に支えられていたことを改めて実感しています。これまでに賜りました皆様方のご支援とご協力に対して心から感謝を申し上げますとともに、工学部同窓会の益々のご発展を祈念いたします。

機械知能工学プログラム(旧 環境ロボティクス学科)

助教 宮城 弘守(応用物理学科 S57年卒)

私が5年間勤めた(株)ダイワコンサルタント(宮崎市)を辞して工学部に戻ったのが1989年。学位もとらずに助手・助教のまま退職を迎えるわけですが、郷里の山口県を離れて旧キャンパスの工学部応用物理学科に入学した1975年から数えると、46年も宮崎に暮らしてきました。その間にこちらで女房をもらって子供を3人もうけましたが、彼らも県外に出て今は女房と二人暮らしです。

さて退職のあいさつをと考えても、人生そのものと言っても過言でない宮崎大学での事を書くのは容易ではありません。そこで写真を一枚選んで紹介し、本学への感謝に替えたいと思います。私が入学した頃にはまだ工学部恒例の「青島コンパ」が健在で、たらふく「霧島」をあおった挙句に青島の洗濯岩まで走ったあと、1975年入学の応用物理学科の同級生と撮られた一枚です。4月の写真ですから未成年もいて今ではご法度ですが、皆幸せそうに見えます。宮崎大学工学部よ、我々をはぐくんでくれてありがとうございました。

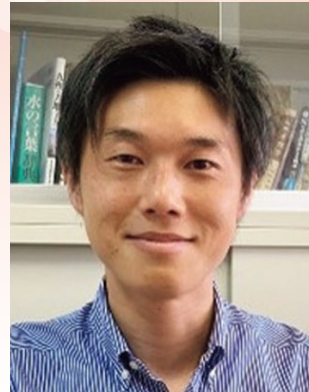


(右から3番目:本人)

〈昇任〉

土木環境工学プログラム(旧 社会環境システム工学科)

准教授 糠澤 桂



2016年4月より宮崎大学に着任し、2021年4月より准教授を拝命しました、糠澤桂と申します。河川生態学と水文学に関する研究に従事しております。河川の防災は1997年の河川法の改正より「環境」の保全と整備が義務付けられています。しかし、河川整備を含む人為的な開発と、環境や生物多様性との関わりはまだ深く理解されていません。さらに、昨今頻発する異常気象や、気候変動も踏まえると、将来に健全な河川環境を残す方策を考える必要があります。このため、生物調査等を通じた事例集積はもちろんのこと、生態系にとって必須である「水」の大局的な動きをシミュレーションする「水文学」に着目した地域のモデル化によって、世界を視野に宮崎の地で、環境に配慮した持続的な流域管理に資する研究開発を進めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

応用物理工学プログラム(旧 電子物理工学科)

教授 森 浩二



工学部同窓会の皆様、応用物理工学プログラムを担当しています森浩二と申します。私が助教授で赴任したのが2004年11月で、その時は応用物理学科の流れを汲む材料物理工学科に所属していました。そこから2013年4月に改組により工学教育研究部所属の准教授として電子物理工学科を担当し、2021年4月から現職となります。専門は宇宙物理学で、特にX線天文衛星で宇宙の高エネルギー現象を研究しています。X線天文衛星に搭載するX線検出器の開発も並行しておこなっており、今年度(2022年度)打ち上げ予定のXRISM衛星に搭載するX線CCDカメラの主任研究者も務めております。X線検出器にも種類がありますが、私が将来性を感じているのがシリコン半導体検出器であり、現在はX線CCDに続くX線CMOS検出器を開発しています。X線CMOS検出器は、宇宙観測用途以外にも地上での放射線計測にも応用可能であり、様々な可能性を秘めています。応用物理工学プログラムではスマートシティ化においてキーデバイスとなる半導体の教育・研究に力をいれており、私も時代に沿った形で、もしくは、時代を一步先取りする形で貢献していきたいと思っています。私は高鍋西小、高鍋西中、高鍋高校の卒業で、宮崎で育ちました。これからも最新の研究成果を故郷宮崎の地から発信していきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

応用物理工学プログラム(旧 電子物理工学科)

准教授 武田 彩希



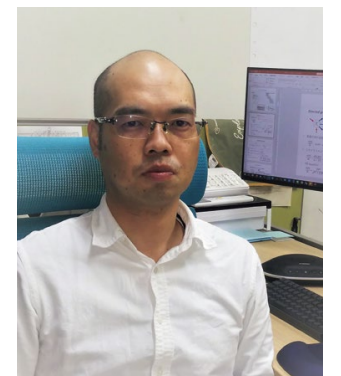
2021年4月に准教授に昇任しました武田 彩希(たけだ あやき)です。宮崎大学へ助教として着任したのは2017年1月なので、2021年度で5年目となります。応用物理工学プログラムを担当しており、熱力学、プログラミング言語、データ処理回路の講義を担当します。前身となる電子物理工学科では、熱力学、統計力学、量子力学の講義を担当していました。

専門分野は、半導体検出器、放射線計測、量子イメージングがキーワードとなります。現在は特に、SOI(silicon-on-insulator)技術を基盤としたセンサ部・回路部一体型の半導体ピクセル検出器の研究開発を進めています。「半導体ピクセル検出器」は聞き慣れないと思いますが、実は、スマートフォンやデジタルカメラの「眼」である、CMOSイメージセンサが身近な例であります。私は、可視光より透過力の強いX線など放射線をとらえるために、センサ層がとても厚い検出器を開発しています。私は、センサ・回路設計から制御システムの構築(基板・FPGA・データ収集ソフトウェア)まで手がけ、製造した半導体検出器の評価を行うことで、性能を向上させています。そして、応用物理工学プログラム担当の森先生が主導されている次世代X線天文衛星への搭載を目指します。最近では、ガンマ線・中性子イメージングの応用を始め、新たな展開を模索しています。

開発中の半導体検出器は、実用レベルに到達しつつあります。着任して以来、関連分野で宮崎大学の認知度が高まっていると感じますが、半導体検出器の応用を進め、さらにアピールしていきたいと思っています。また、近年需要が高い半導体、CMOSイメージセンサの研究・教育を通し、工学部に貢献していきたいと思っています。

情報通信工学プログラム(旧 情報システム工学科)

准教授 井上 健太郎



2021年6月に准教授に昇進しました井上健太郎です。情報システム工学科、工学科情報通信工学プログラムを担当しています。宮崎大学に着任して5年が経ちました。

宮崎大学に来てはじめて教育に関わるようになりました。プログラミングを担当していますが、教える難しさを日々実感しています。また、毎年のようにはじめての授業や大学運営の仕事があり、教員という仕事の大変さを身に染みめています。研究は生命情報学という生命科学と情報学の融合分野の研究をしています。生命情報学は、解くべき問題は生物や細胞の現象で、解く方法をコンピュータで行う分野です。私が実際にやっていることは、パソコンの前でプログラムを作って、データ解析やシミュレーションなどを行っています。宮崎大学の医学部や農学部の先生と共同研究もしています。生命情報学はこれからの生命科学研究では欠かすことのできない分野になっています。これからも私を通して分野のことを知ってもらい、興味のある学生を育てていければよいと思います。

工学基礎教育センター 教授 坂本 真人



宮崎大学に着任して21年目ですが、文部教官助手になってから35年になります。出身は東京都新宿区ですが、学生時代に47都道府県のほとんどを旅し、宮崎がとても気に入っていました。また、当初パイロットを目指していたので、目標の一つであった航空大学校がある宮崎県に住むことになるとは思ってもみませんでした。実際に宮崎で暮らすと、やはり予想していた通りいろいろな意味で素晴らしいところで、たいへん満足しています。母方の先祖が日向伊東家の家臣であったようなので、そのご縁かもしれません。時間がある時は県内を旅し、名所旧跡を訪れたり、地元の産物に舌鼓を打ったり、現地での情報収集を行っています。専門は計算機科学と各種情報処理で、情報の基礎から応用まで幅広い範囲の教育や研究に携わってきました。特に、オートマトン・言語理論・計算論などの理論計算機科学、数理科学やデータサイエンス、CGやバーチャル技術などの映像応用、様々な無秩序な現象を対象とした複雑系解析の4つの分野に力を入れています。また、映像技術や人工知能による観光支援や農業支援など地域共同研究も推し進めています。さらにフラや芝居などエンターテインメントにも関わっており、エンターテインメントコンピューティングの研究にも繋げています。現在は、工学基礎教育センターに所属し、数理・データサイエンス教育に従事しており、放送大学の非常勤を通じて社会人への情報処理教育にも力を入れています。情報系の知識や技術は日進月歩で毎日が勉強ですが、学生の皆様はもちろんのこと、社会人の皆様も学べる幸せを感じ、感謝の気持ちを忘れずに、楽しく学ぶ工夫をされると良いと思います。私も微力ながらその手助けをしたいと思います。

工学基礎教育センター 准教授 川崎 典子



准教授となり、工学基礎教育センターに異動した川崎典子です。2016年1月に宮崎大学工学部に来てからは工学部国際教育センター（2012年3月末に閉室）で、主に日本人学生の英語学習支援と留学生の生活支援に従事していました。その当時は、工学部で唯一の文系英語教員で、工学部の事情を分からずに右往左往するばかりでした。しかしながら、国際教育センターに用意された学習ラウンジに集まる学生たちと日本語と英語で交わす話から多くの示唆と活力を得て、前進することができました。すでに卒業して宮崎を離れた方々もありますが、今でも思い出は鮮明で、交わした言葉の数々がよみがえり、目の前の将来ある学生たちのために頑張らなければと励まされています。

これからは工学部の英語科目を新たに担当するなど、工学部生の国際教育のさらなる充実が中心的な仕事となります。工学部生にはどんな人とも言葉を交わす面白さを味わう喜びを伝えながら、卒業後には海外での生活を人生の選択肢とできるような逞しい人材を輩出することを目標にして精進したいと考えています。

環境・エネルギー工学研究センター

教授 奥山 勇治



2021年4月に教授に昇任しました奥山勇治です。2014年に本学のテニユアトラック推進機構に着任して3年、その後ロボティクス学科で4年と早いもので宮崎大学に赴任して7年が経ちました。着任当時は実験装置も何もなく、3名の学部生とともに研究室をスタートさせましたが幸いにも優秀な学生に恵まれて今では院生（5名）、学部生（6名）、博士課程学生（1名）の大所帯になって活気のある研究室を運営しています。大学のご支援とともに企業や政府からの多大なご支援のおかげで最近ではAIを活用した材料開発や次世代の燃料電池開発などコロナ禍でも最先端の研究開発を学生とともに取り組むことができます。ご存じの通り工学部では改組により教育現場は大きな転換点を迎えようとしています。コロナ禍も相まって教員も学生も戸惑いながらも高い教育の質を担保しつつ、新しい工学部を作ろうと努力しています。是非、OBの方々も応援（ご支援）いただければ幸いです。ポストコロナという激動の時代を生き残れる人材教育そして最高学府として恥ずかしくない世界最先端の研究を展開すべく、今後も妥協なしで頑張っていきたいと思っています。

〈新任教員紹介〉

機械知能工学プログラム

准教授 宮内 優



2021年4月1日付けで、機械知能工学プログラムの准教授に着任しました宮内優と申します。出身大学は大阪大学工学部で、同大学で博士号を取得後に東北大学流体科学研究所にて助教として勤めていました。流体力学やコンピューターシミュレーションを専門としており、研究では血液の流れを対象としています。循環器系疾患の機序解明や早期発見などに貢献することを研究の目標として研究活動を行っています。宮崎大学では、医学部だけでなく他学部とも共同研究を行い、何か新しい分野を開拓できればと思っています。また、宮崎大学のスローガンである「世界を視野に地域から始めよう」を念頭に、宮崎大学における教育活動や宮崎への地域貢献を通して、世界に宮崎大学工学部のプレゼンスを向上させることができるように精進したいと思っております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

環境・エネルギー工学研究センター

准教授 永岡 章



2021年4月に准教授の職を拝命しました永岡章(ながおか あきら)と申します。

2014年に本学で博士号を取得後、アメリカで博士研究員として経験を積み、2018年11月より環境・エネルギー工学研究センターの教員として母校で活躍する機会をいただいております。現在、再生可能エネルギーに注目し、熱を電気に換える熱電発電や高効率太陽光発電のための特徴ある材料開発をしています。宮崎大学でしか作ることのできない材料もあり、それらをワークピースとして国内外の研究機関と宮崎大学主体で共同研究を行っています。

私自身、生粋の宮崎人で、愛着のある宮崎から世界へ今まで以上に成果を発信するために研究、そして教育に邁進していきます。

2021年の主な活動 コロナ禍の為、ほとんどの活動を残念ながら中止せざるを得ませんでした

- 3月23日(火) …… 卒業・修了祝賀会(シーガイアコンベンションホール) —中止
- 4月 2日(金) …… 工学部保護者懇談会(宮崎大学330記念交流会館) —中止
- 4月17日(土) …… 関西工学部会新入社員歓迎会(大阪城公園) —中止
- 5月22日(土) …… 第5回宮崎大学工学部同窓会(ニューウェルシティ宮崎) —中止
- 6月12日(土) …… 関東工学部会(東京—TKPガーデンシティ渋谷) —中止
- 10月16日(土) …… 関西工学部会(大阪—梅田スカイビル) —中止
- 10月17日(日) …… 中部工学部会 —中止
- 11月 6日(土) …… 北部九州工学部会(福岡—八百治博多ホテル) —中止
- 11月 …… 第10回宮崎大学ホームカミングデイ —中止
- 11月 9日(火) …… 「2022年版みやざき就勝ガイド」発行・配布
- 12月 3日(金) …… 宮崎県内企業OB・OG交流会(330記念交流会館) —中止

教育・福利厚生・就職への支援活動

「工学部学科毎の卒業・修了式」

3月23日(火)フェニックスシーガイア・コンベンションセンターサミットホールでの宮崎大学卒業証書・学位記・修了証書授与式が新型コロナウイルス感染防止の為、中止になりました。その為、工学部では、学科毎の卒業・修了式がありました。





「卒業記念品(クオカード3,000円)の贈呈」

フェニックスシーガイア・コンベンションセンターサミットホールでの卒業証書・学位記・修了証書授与式終了後に開催される工学部同窓会主催の祝賀会も中止となり、今年も工学部同窓会より今後の活躍を心より期待してクオカードをお贈りしました。



「宮崎大学基金へ100万円(工学部学生の教育支援)の寄附目録を寄贈」

10月13日、宮崎大学工学部同窓会から宮崎大学基金へ100万円の寄附を受け、本学学長室で贈呈式が執り行われました。

贈呈式では工学部同窓会の井上康雄会長から「工学部学生の教育活動を充実させ学生生活を豊かにするため工学部学生支援を目的に宮崎大学基金に寄付を行いたい」と述べられ、鮫島学長へ寄附金目録が贈呈されました。

これに対し、鮫島学長から「学生の支えになるよう有効に使わせていただきます」と謝辞が述べられました。



「学科内ソフトボール大会」—工学部同窓会支援

宮崎大学木花キャンパスグラウンドにて親睦を兼ねて11月19日(金)に電子物理工学科(4年生～修士)ソフトボール大会が開催されました。



「2022年版みやざき就勝ガイド」 —工学部同窓会発行・配布

12月6日(月)から理事を通じて学科毎にガイドブックの掲載企業を学生の皆様及び保護者の皆様によく理解していただくようによく説明した上で配布しました。

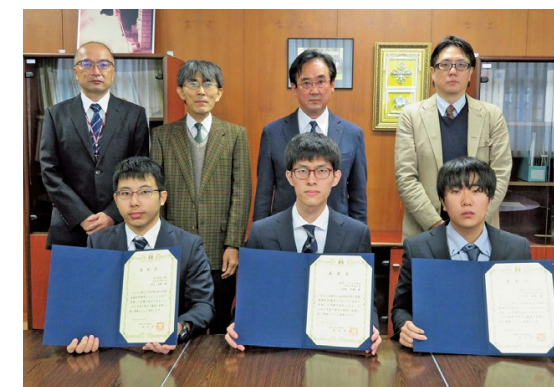


「宮崎大学工学部基礎科学(数学)における学生表彰」—工学部同窓会支援

12月16日(木)に工学部の3年生を対象に数学成績優秀者の表彰式を行いました。

表彰式では、鈴木工学部長から表彰状と記念品が手渡され激励の言葉が贈られました。

記念品(図書カード)は工学部同窓会が支援を行いました。



「学生の学外技術研修の交通費等」 —工学部同窓会支援

各学科や各プログラムで学修する内容が具体的に社会でどう活かされているかなどを目的に学外技術研修を受けるための交通費(貸切バス)等を工学部同窓会として支援しています。



各地区工学部会からのメッセージ

Message

関東工学部会代表幹事(Σ会関東支部長)

續山 浩二

(応用物理学科 S59年卒)



師走も半ばを過ぎ、なにかと気ぜわしくなってきましたが、皆様、お健やかに過ごしてでしょうか。

関東工学部会では、会長を設けずに、次年度懇親会の代表幹事が関東工学部会を代表することになっていますが、2020年、2021年と続けて関東工学部会懇親会を開催することができなかったため、Σ会(物理系同窓会の名称です)関東支部長である私が、昨年引き続き代表幹事を努めています。

皆様もご存じのとおり、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、現時点で日本におきましては新規感染者数が増加しており、さらに、感染力が強いと言われる新株(オミクロン株)も報告されており、今後も予断を許さない状況です。

今回の新型コロナウイルス感染症では、日々の生活や労働環境等のさまざまな生活様式が変わりました。これまでは一部で実施されていたテレワークでしたが、感染拡大抑制のために、「人との接触を8割減らす」ことが求められたために、官公庁も含めて多くの会社がテレワークを実施しました。元々、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催期間での交通機関混雑回避のためにテレワークができる環境を官公庁・会社は準備したのですが、幸いにもこの準備が2020年春からのテレワーク実施に役に立ったという訳です。

また、テレワーク率をある程度上げて会社運営に問題ないことが多くの会社で確かめられて、テレワーク自体が一般的になりました。会社によっては、テレワークを活用して、オフィススペースを縮小したり、会社自体を地方へ移転したりした会社もあります。

このような状況ではありますが、関東工学部会では、2022年6月11日(土)に3年ぶりの関東工学部会懇親会を開催すべく準備を始めました。会場は、TKPガーデンシティ渋谷(東京都渋谷区渋谷2-22-3 渋谷東口ビル)の予定です。

来年の4月から就職等で関東へ来られる方は、ぜひとも各学科同窓会の幹事の皆様へご連絡をとって頂き、ご参加頂ければと思います。

来年の各地区の工学部会懇親会が開催されるとともに、学生の皆様方の今後のご活躍を祈念します。

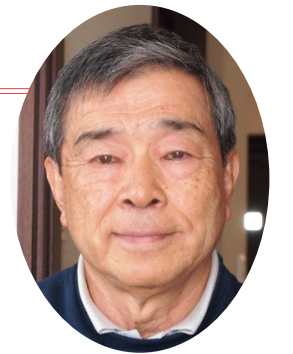
2021年12月吉日



中部工学部会 会長

安川 雅夫

(機械工学科 S46年卒)



この春、卒業および修了される皆さん、おめでとうございます。

コロナ禍にあって大変なご苦労があったことと思います。社会の状況もしばらくは不安定でしょうが、己の知識と技術で世の中に貢献することは技術者の使命であると肝に銘じ、自己研鑽の継続を忘れないでいて下さい。私たち工学部同窓会も皆さんを応援します。残念ながら、同窓会の活動はこの2年間休止せざるを得ず、申し訳ない思いです。早く元に戻れるといいですね。そんな中、昨年10月にスズキOBの横内悦夫さん(機械工学科S32年卒)の訃報が届きました。ご遺族の挨拶状に『祖父から受け継いだ「お天道様は見ている」という言葉を胸に、努力を惜しまずに駆け抜けた人生でした。』とあった文章が、心に響きました。「お天道様は見ている」というところに日本人の倫理観の根源が見えるからです。スズキのモータースポーツ活動において、故吉村秀雄さんとタッグを組んで大活躍をした横内さん、お二人が心血を注いだヨシムラのマシン(写真)は、ご存じかもしれませんが、赤と黒に塗られていました。その赤色に、日向の国宮崎のお天道様の力強さを感じませんか。「赤のペンキしかなかったので、」とおっしゃられていましたが、先輩の「負くっか」魂をズバリ表現したものだとは私は思います。

日本は今、自信を失っています。その自信の無さから、あろうことか、お客様に嘘をついてまで利益を得んと短絡的な行動を取る者が出てくるようになりました。新聞に『ものづくりの会社が品質でウソをついて恥じないようでは、企業や産業の競争力をあれこれ語っても空語に等しい。』との社説まで出てきます。

皆さんの情熱こそが日本の宝です。豊田佐吉の訓えですが、「上下一致、至誠業務に服し、産業報国の実を挙げべし」「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」というのがあります。現代にも通用する普遍的なもので、心に留めてみて下さい。お天道様が皆さんの努力を応援してくれる筈です。

中部工学部会の総会・懇親会は、今年は浜松で開催の予定です。浜松は二輪車の生まれ故郷です。二輪博物館も多く、訪ね歩くのもいいものですよ。是非、足を伸ばしてみてください。余談になりますが、写真のヨシムラスズキ12番は、私が作成したプラモデルです。定年退職後に再開した趣味でもあります。



関西工学部会 会長

川口 勝

(機械システム工学科 H10年卒)



工学部同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

2021年は、昨年に続きコロナ一色の年になりましたが、ワクチン接種も進み、1年遅れで東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。

学生の皆様におかれましては、リモートでの授業も一般的になり、なかなか同級生や仲間とコミュニケーションの場を持つことが難しい一年だったのではと想像します。また、気軽に帰省や旅行にも行けず、寂しかったのではないのでしょうか。

関西工学部会でも昨年に続いて全ての活動を自粛し、会員の皆様とお会いすることが出来ず、とても残念でなりません。今年こそは、何とか開催したいと考えていますが、まずは皆さんの安全を第一に考え、進めてまいります。通常であれば、年2回の親睦会を開催しています。

①4月第3土曜日12時から新入会員歓迎会として大阪城公園で開催

②10月第3土曜日or日曜日に大阪駅周辺にて開催

しています。2022年も開催できるか現時点でなんとも言えませんが、開催が決まりましたら、奮ってご参加ください。

工学部同窓会を通じて、様々な分野で活躍されている諸先輩方との繋がりを大切にし、特に若い方々のお力に少しでもなれるよう活動を続けて参りますので、お気軽にご参加いただけますと幸いです。

今後も、新たな変異株により不安な日々が続くと思いますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念しております。



北部九州工学部会 会長

今井 富士夫

(土木工学科 S48年卒)



今年もコロナ禍の1年でしたが、皆様には如何お過ごしでしたでしょうか。

コロナで昨年延期された平和の祭典・TOKYO2020が今年開催されましたが、今年の開催時期の感染者は昨年の5倍近い1万人/日となって、世界も爆発的感染状態を呈していました。開催に対して国内世論が二分するなかで、“ぼったくり男爵”と揶揄されているIOCのバッハ会長とIOCに追従する日本の大臣らによって、開催国・日本のコロナ状況を見做して強引に開催され、安全・安心と謳いながら聖火リレーの自粛をはじめ、屋外観戦までも無観客となりました。

オリ・パラ閉幕後もコロナ患者は増え続け、8月下旬には2万人/日を超えましたが、12月には100人/日までに激減し、緊急事態宣言も解除され、制約はあるものの緩やかに日常を取り戻しつつあります。

この2年間は会食などが規制されていたので、同窓会の集いも昨年に続いて中止となり、同窓生の方々にお会いすることなく新年を迎えようとしています。

今年、工学部はこれまでの複数学科から単一学科(工学科)に改組しています。単一学科での教育の特徴は専門分野の教育に加えて、工学系の他分野についても横断的に学習できることにあり、これまで以上に幅広い知識を有した質の高い学生が育成されるでしょう。

学生の皆様にはコロナによって満足にできなかった活動もある程度自由にできるようになったのではないのでしょうか。いろんな場に積極的に参加して、多くの友と社会・政治などに意見を交わして“世の中を正しく見る力”を養いながら、たくさんの思い出を作ってください。

これからの技術者は学際的な広い知識が求められます。宮崎大学工学部は我が国の基盤産業を支える技術者を多数輩出しており、工学部同窓会は幅広い年代の卒業生が集う場を提供しています。

同窓生の皆様には工学部同窓会に積極的に参加されて、分野の異なる同窓生同士で個々の課題などについてにぎやかに会話され、自分の工学力を高める糧としていただければ幸いです。

来年こそは2年間休眠していた同窓会を再開しようと思っていますので、多くの皆様のご参加をお願いします。そのためにも新たに発生したオミクロン株コロナが生活を脅かすまでにならないことを祈念しております。

2021年度 宮崎大学工学部同窓会 役員名簿

役 職	氏 名	卒業年	卒業学科	所 属
会 長	井上 康雄	S45	機 械 工 学 科	機 友 会 会 長
副 会 長	三重野 彰敏	S47	工 業 化 学 科	化 学 会 会 長
副 会 長	田村 俊彦	S53	応 用 物 理 学 科	Σ 会 会 長
副 会 長	出口 近士	S51	土 木 工 学 科	土 木 会 会 長
副 会 長	大石 豊文	S54	電 気 工 学 科	電 電 会 会 長
副 会 長	齋藤 幸雄	S45	応 用 物 理 学 科	Σ 会
理 事 長	加来 昌典	H8	電 気 電 子 工 学 科	電 気 シ ス テ ム 工 学 科
副 理 事 長	森 浩二			電 子 物 理 工 学 科
理 事	塩盛 弘一郎	S63	工 業 化 学 科	環 境 応 用 化 学 科
理 事	神山 惇			社会環境システム工学科
理 事	高橋 伸弥	H6	情 報 工 学 科	環 境 ロ ボ テ ィ ク ス 学 科
理 事	友松 重樹	H7	機 械 工 学 科	機 械 設 計 シ ス テ ム 工 学 科
理 事	油田 健太郎	H15	情報システム工学科	情 報 シ ス テ ム 工 学 科
監 事	野崎 清春	S41	機 械 工 学 科	機 友 会 副 会 長
監 事	大榮 薫			工学基礎教育センター
事 務 局 長	原 義彦			
事 務 局 員	帖佐 悦子			

2020年度 正・副幹事の紹介

同窓会では、毎年各学科の学部卒業生の中から各学科の正・副幹事を委嘱して、①卒業後の連絡網の充実 ②同窓会への参加 ③同期の方への参加連絡等の情報伝達 をお願いしております。

学 科	名 前	
環 境 応 用 化 学 科	正 幹 事	石橋 竜也
	副 幹 事	藤波 寛人
社会環境システム工学科	正 幹 事	宮崎 睦士
	副 幹 事	上田 直輝
環 境 ロ ボ テ ィ ク ス 学 科	正 幹 事	沖 泰聖
	副 幹 事	中山 瞬一
機械設計システム工学科	正 幹 事	山村 拳志郎
	副 幹 事	宇佐見 俊博
電 子 物 理 工 学 科	正 幹 事	岩切 優人
	副 幹 事	永崎 誠人
電 気 シ ス テ ム 工 学 科	正 幹 事	谷口 良典
	副 幹 事	林 公輝
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	正 幹 事	今村 和樹
	副 幹 事	菅 健将



2022年の主な活動予定 ※新型コロナウイルス感染防止のため中止になることがあります。

- 3月 …… 卒業・修了祝賀会(シーガイアコンベンションホール)
- 4月 …… 工学部保護者懇談会(宮崎大学330記念交流会館)
- 4月 …… 関西工学部会新入社員歓迎会
- 5月 …… 第5回宮崎大学工学部同窓会
- 6月 …… 関東工学部会
- 10月 …… 関西工学部会
- 10月 …… 中部工学部会
- 11月 …… 北部九州工学部会
- 12月 …… 「2023年版みやざき就勝ガイド」発行・配布
- 12月 …… 宮崎県内企業OB・OG交流会(330記念交流会館)